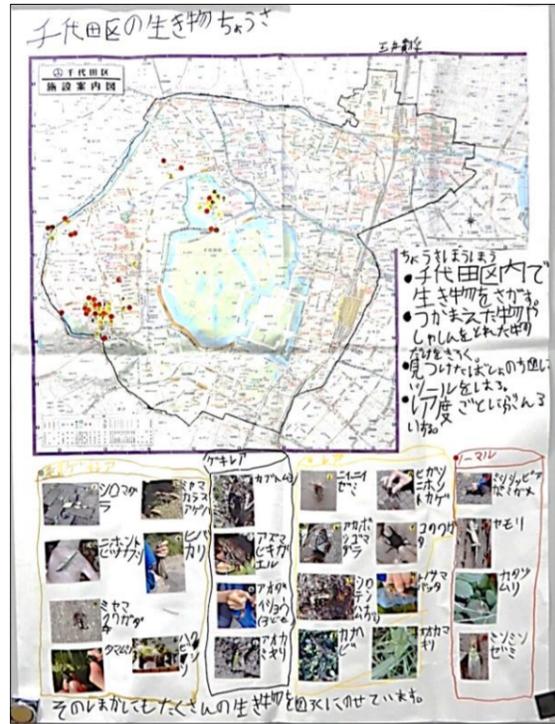


ちよだ生物多様性大賞 受賞者活動概要

賞名	最優秀賞
応募者	玉井 貴将(たまいたかまさ)
活動名	千代田区の生き物ちょうさ
活動場所	千代田区内の公園や緑地
規模	参加人数:1名(個人)
頻度	2021年5月～8月
開始時期	2021年5月
継続年数	1年目
目的	千代田区に住む様々な場所を探し、どんな生き物がいるかを調査する。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> 千代田区内で生き物を探す。 捕まえた物や、写真の撮れた物だけを記録する。 見つけた場所の地図にシールを貼る。 レア度ごとに分類する。 写真に説明を付け、図録を制作する。
添付された写真(抜粋)	 <p>生き物調査位置図と図録</p>

賞名	入賞
応募者	法政大学 屋上緑化維持管理プロジェクト
活動名	法政大学で最愛の庭園を目指します
活動場所	法政大学市谷キャンパス・ボアソナードタワー4階「グリーン・テラス」
規模	参加人数:20～25名
頻度	通年(日常的な庭園の維持管理)、プロジェクト 2020年度4回、2021年度2回
開始時期	2021年4月
継続年数	16年間
目的	気候変動の緩和・適応策、ヒートアイランド対策及び生物多様性の向上、ビotopeネットワークを意識した生物多様性の保全、「自然観察」による生物多様性に関する知識の習得、ポイ捨てゴミの減少を始めとした「都市環境」の向上、学生・教職員や「地域」の憩いの場の創出を目指す。
活動概要	「法政大学屋上緑化維持管理プロジェクト」は、皇居・北の丸公園、靖国神社、外濠公園につながる地域のビotopeネットワークを意識した「A REAL GARDENER」の育成を視野に入れた樹木や植物や庭園に遊びに来る鳥や蝶を始めとする生物の生息・生育空間である「法政大学で最愛の庭園」を目指した取り組みを展開している。
添付された写真(抜粋)	 <p>菜園区画で食べ頃を迎えた「苺」</p> <p>苔類等を植えた「日本庭園」</p> <p>2021年度 プロジェクトの様子</p> <p>「法政大学で最愛の庭園」見頃を迎えた「ベルエポック」</p> <p>活動紹介資料の一部抜</p>